

平成27年度入学者選抜学力検査問題

専門適性検査

(工学部 デザイン学科)

[午後]

注意事項

1. この冊子は、監督者から解答を始めるよう合図があるまで、開いてはいけません。
2. 机の上には、問題冊子、画用紙、板紙、物品、募集要項に示された用具、時計、受験票以外のものは置いてはいけません。
3. 画用紙に汚れがある場合、配布された物品に不具合がある場合は、解答を始める前に手をあげて申し出てください。解答に支障があると監督者が判断したときは、新しい物と交換します。
4. 問題冊子に印刷または製本の不具合があったら、手をあげて申し出てください。
5. 監督者から指示があったら、画用紙と板紙の受験番号欄に、受験番号を記入してください。画用紙は横位置に用いて、受験番号欄のない面に解答してください。
6. 問題の解釈についての質問は一切受け付けません。
7. 画用紙と板紙、配布された物品は、解答の有無にかかわらず持ち帰ってはいけません。
8. この冊子は持ち帰ってもかまいません。
9. その他、監督者の指示に従ってください。

問題V

セロハンとピンポン球を構成要素として、魅力的な画面を作りなさい。解答は以下に示す条件を満たし、与えられた画用紙を用いること。

【条件】

1. 画面の大きさは20cm×27cmの長方形とする。
2. 画面は横位置に用いる。
3. セロハンとピンポン球の数や色は任意とする。
4. 画面はすべて絵の具で着色し、白にする部分は白色絵の具を用いる。
5. 着色はムラのないようにする。
6. 配布されたセロハンとピンポン球は、素材感を確認するための資料である。

問題VI

配布された紙コップを加工して組み合わせ、「躍動」をテーマに立体を構成しなさい。
解答は以下に示す条件を満たすこと。

【条件】

1. 構成する立体は一つとする。
2. 立体は板紙からはみ出さない大きさとする。
3. 紙コップは使いきらなくてもよい。
4. 紙コップの接合にはセロハンテープを使用しても良い。
5. 立体は持ち運んでも簡単には壊れないものとする。
6. 板紙はカッターマットとして使用する。
7. 立体は、板紙の受験番号欄のない面に、セロハンテープで固定する。